初代焉馬書

夫羅山曰萬葉集は古詩に似たり
古今集は唐詩に似たり伊勢物語は國風の
情を發し源氏は唐の史記にて荘子と
史記を併せ得たりといへり宇治拾遺
物語ありといへるは大鏡に源平盛衰記より
軍書まて平家物語一切経記の書に南北房
これ等の書は作者の者を…して書きしめ
やうなるものの語るところ人たえかたし
まけりし記事にも…人なるものとおぼゆ
学問物語りも利口なる事をもはらと新文に
志せし者のたより作板物語りつゐの語りを
断の文册ふるてこれにもつくさぬはれ
ちかき此へ此ハ川へせんと桃の流といひ
さ送めふその時の趣よりしてさる纂々
たくされたる外に此の吉切節用にも其の
手からもいつもから事にも書きし力をも
いれかしてもともの中のかけ縁をもりて高き
おいらんの言葉をやつしくは是は此の冊子や
下は日湯のさ記さきたしよりはいまや一會
催さんと思ひ希に大人又江戸人康
於て額大屋の裏住竹杖の為輝つらね
光柳の館を給てふ向ひの身をしやま
後の会が權に三年と四方山しの筆に
しも其の焉馬を判者として狂歌
の会より一百余人戯作をものひらけた遊
かくての長席うちうち後の如し近くて
升の同し帰り希をきその会同の
催さらにしく笑ふ富士筑波の類ひく
時は天明四のとし甲辰四月廿一日両
國尾上町の橋上に集會し七よりせ
いまりこれを聞くもの此れ我か事と
語り今は世の大つきとも珍しき嶋江
もしあい鯖をこのあまた大河となる噺も
あまた銭金をかしてわれ共にかしても
あらもさたなる流しといひえてこれの
大江戸のたからと記し恵こそなれあや

よれ押し咄の年々七十
市の学ひえて千代やよろ世

文化十癸酉春
談洲楼銀馬のしるす

七十一翁烏亭焉馬
談洲楼机下述

初代馬馬書

史羅山口号ニ曰萬葉集ハ古詩ヲ似ルヿ
古今集ハ古詩ヲ似ルヿ伊勢物語ハ寧風の
情を發ルヿ雅ニ渡ルヿ源氏ハ[illegible]ハ莊子と
天台ハ[illegible]ニ似ル[illegible]ニ[illegible]ニ宮治拾遺
物語ハ[illegible]ハ大納言隨國ハ畢月より
業月まで平等院一切經藏の山ハ南京房
ニ[illegible]ハ[illegible]の者ハ[illegible]
やしきをいふ[illegible]ハ大きなるを[illegible]
きけり[illegible]事も[illegible]ハ
[illegible]物語ハ[illegible]利口なる事も[illegible]
志ハ[illegible]行取物語ハ[illegible]の語ハ
漸の文母ハ[illegible]
ぢハ山へ渉ぐハ川へせんとて桃の流しといふ
を[illegible]の[illegible]の種[illegible]蓁ハ
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
下[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]